

『住民税1%町民予算枠制度』の 平成25年度実施事業が採択されました



住民参画と協働のまちづくりを推進するため、本年度からスタートした『住民税1%町民予算枠制度』。5月15日～8月15日の募集期間に、町民や町民活動団体の皆さんから「熱意」と「創意工夫」あふれる各事業の企画提案を多数いただきました。

審査委員会による書類審査と提案者・企画団体も参加した9月15日開催の公開ヒアリング審査を経て、採択事業が決定しました。

採択事業については、最小の経費で最大の効果があげられるように内容を再度精査し、事業の実施、補助金の交付を行います。

□問い合わせ先 政策協働課協働推進係 ☎(48)1111(内303)

□わくわくアイデア事業

町民の皆さんから提案いただき、事業担当課で調整を行った11事業のうち7事業が審査の結果、採択事業となりました。採択された提案は、来年度（平成25年度）に町が実施します。

採択事業は次のとおりで、提案額の合計は2,801,000円です。（敬称略・評価点の高得点順）

事業名称	提案者	内 容	評価点
子育て支援事業 「子供用品リユース市」	後藤 由希子	成長とともに不用になった子供用品の交換、回収、無料提供。回収ボックスを保育園などに設置する。リユース市は年4回程度とし、開催場所は児童館や子育て支援センターなどを検討する。	69.33
知多娘「阿久比ほたる」とのコラボ	新美 正治	「阿久比ほたる」をはじめ知多娘のキャラクターを積極的に町の事業で採用する。来年度は町制60周年にもあたり、1年を通してさまざまな事業で活用する。キャラクターの発信力を最大限に生かし、若年層へも町の事業をPRする。	68.44
防犯灯をLED電球に変更事業	新美 正治	毎年100本（新設30本、器具交換70本）に加え、球切れのうち20本を追加でLEDに交換し、更新のペースを速める。電気代や耐用年数でコストダウンを図る。	66.33
災害時協力井戸事業	草木区長 竹内 晃	災害時に雑用水（トイレ、洗濯、清掃用水など）として利用可能な井戸を募集する。住民が敷地内に入入りして利用できることを表示するプレートを作成する。所有者の承諾を得て、プレートを表示する。	66.11
お雛さまと吊るし飾り展	NPO 法人もやい 安井 洋子	古くなり飾られなくなった「おひなさま」を集め、勤労福祉センターで展示する。より身近で見、聴いて、感じてもらえる手作りの展示会をさまざまな団体や人の協力でつくり上げ、地域や町外の方へPRする。	65.89
花・花コンクール	関 香津美	個人の花壇・ガーデニング、公民館や沿道の団体管理の花壇のほか、阿久比らしさのひとつである農村の景観を豊かにする菜の花やコスモスなど休耕田畑への景観作物も対象とし、写真でのコンクールを実施する。花を通して豊かなまちづくりを行う。	64.44
災害用備蓄食糧の各行政区での分散備蓄と管理	菅原 豊明	「各行政区人口の5%×1日2食×2日分＝約5,400食」を目安に、3年かけて1年1,800食ずつ備蓄する。軽量コンパクトな長期保存可能保存食で保管スペースの確保を図り、期限切れ食糧を毎年更新していく。	63.89

□わくわくコラボ事業

町民活動団体の皆さんに企画いただいた22事業のうち18事業が審査の結果、採択事業となりました。採択された企画は、来年度に町民活動団体が実施し、町からは補助金が交付されます。

採択事業は次のとおりで、申請額の合計は7,943,758円です。（敬称略・評価点の高得点順）

事業名称	企業団体	内 容	評価点
平家ホタルを養殖し、造成池に放流することによって地域の皆さんの鑑賞に貢献する「平家ホタル養殖・放流」事業	阿久比平家ホタルを楽しむ会	ホタルが成虫になる6月中旬～7月上旬の期間は、夕方からホタル鑑賞ができるよう観察場所を解放し、子ども向けに説明を行う。次年度用のホタルの確保、養殖をし、養殖したホタルの幼虫を造成池へ放流をする。	70.22
阿久比町の歴史や伝承などの語り継ぎにより、郷土への愛着を醸し出す「ふるさとガイド」事業	あぐいふるさとガイド	町内外の方に向け季節に応じたガイドを実施。町内5コースに合わせたガイドマップを作成する。新規で誰でも受講できるように公開でガイド養成の勉強会を実施する。ガイド事業で阿久比町の歴史や伝承を町内外へ発信する。	69.89